



#部活

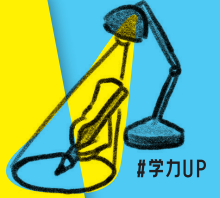


#将来のこと



#心と
身体の
こと

SDGs × 子ども



#学力UP



#スマホ
#タブレット



#友達関係



#学校の
ルール



報告書



<読書>
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

#いじめ  
#不登校



## 「鹿児島市子どもの未来応援条例(仮称)」を2023年に制定予定です。

鹿児島市では、子どもと新たな約束をつくります。

子どもたちを取り巻く環境や仕組みを整え、  
子どもたちが未来に向けて、元気に一歩が踏み出せるよう、  
時代に合わせて必要な取り組みが行われるための約束です。

この報告書は、条例をつくるにあたり、子どもたちの率直な生の声を聴くために  
鹿児島市内に住むまたは鹿児島市内の学校に通う中高生などとともに  
開催した<sup>\*</sup>みらいアジェンダミーティング(ワークショップ)の記録で、  
直接出された子どもたちの意見を尊重する内容となっています。

大人だけでつくった子どもとの約束より、  
子どもたち自身が感じたり、考えている意見を聴いてつくる子どもとの約束が、  
より多くの人たちに届くものになると思っています。

17名の中高生と5名の大学生が、

「こうなったらいいな」

「こんなことできないかな」

「こんな鹿児島市になってほしい」

と、真摯なまなざしでユニークな提案を出しあいました。

このワークショップとその報告書から、身のまわりのことに思いを巡らし、そして自分事として考え、  
子どもを尊重する社会について、考えるきっかけになれば幸いです。

\*アジェンダ=議題・課題と訳される。SDGsでは、人間、地球及び繁栄のための行動計画。

このワークショップでは、「子どもの権利条約」と「SDGs」をテーマに、  
子どもたちと提案内容を考えました。  
2つとも、世界中のたくさんの国の人が共感して、  
必要だと思い、広がっている事柄です。  
私たちは、子どものことを大切に考えることが、  
鹿児島市にとっても世界にとっても最善のことだと理解しています。  
子どものこと、鹿児島市のこと、そして世界のことを繋げて、  
どんな街が子どもに優しいのか考えていきましょう。



## 子どもの権利条約について

18歳未満の子どもが大人と同じくひとりの人間として大切にされるために、大きく4つの権利が保障されています。子どもの権利条約では、「子どもにとって最もよいこと」を考えることを大切にしています。

### 4つの権利



生きる権利

すべての子どもたちの命  
や権利が守られること



育つ権利

もって生まれた能力を  
十分に伸ばし  
成長できること



守られる権利

あらゆる危険なこと  
(暴力・悪口・仲間外れ・  
有害な労働等)から  
守られること



参加する権利

自分の思いや考えを  
自由に表現できること

## SDGsについて



豊かな世界が続くためのみんなの目標です。2015年、世界のリーダーが集まって、「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」を決め、2030年まで取り組みます。2020年に鹿児島市は、「SDGs未来都市」に選ばれ、誰一人取り残されない、人や環境にやさしい社会に向けて、みんなで取り組めるような市になるよう頑張っています。

# 8/11 Day.1

# 8/12 Day.2

# 8/24 Day.3

## 知る

子どもの権利とSDGsについて、詳しい方から話を聞きました

中学1年生～高校3年生まで参加して、知っていることに違いがあったので、よりよい提案を考えるために、最初にみんなで基礎的なことを学びました。

talk no.1

鹿児島大学  
法文学部法経社会学科  
大野 友也 准教授



講演  
タイトル 「子どもの権利について  
～「校則」を手がかりに～」

人間であれば、人種・性別・年齢・国籍・育ちや地域に関係なく、人権は守られているよ。権利について考えるときは、それが守られていない時なんだ。自分の権利はどうか？日頃の生活について考えてみましょう。

talk no.2

認定NPO法人D×P理事長  
今井 紀明 さん



講演  
タイトル 「僕が見てきた社会のこと、  
これからつくりたい未来のこと」

若者が自分の未来に希望を持てるような社会を目指しています。安心できる場所や相談できる大人や友人がいなくなった時に、若者は未来が描けなくなっているよ。小さな声でも出してみることで、まわりに変化を与えられるから、勇気を出して一歩を踏み出してみよう！

## 考える

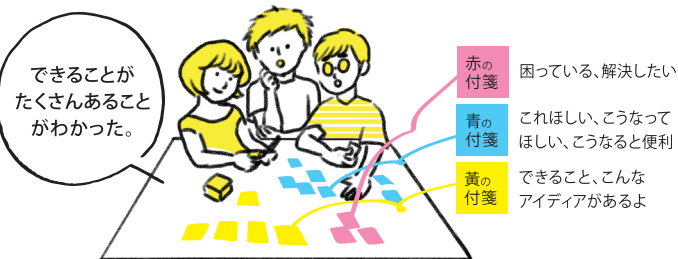
鹿児島市の子どもたちに必要なことの提案内容を考えました

提案したいことはパッと出るものではないので、まずは、参加者全員で、日常で感じていることを話し合いました。その内容を、「学校」「生活」「社会や環境」のテーマにわけ、中学生・高校生もそれらに分かれて、大学生のリードのもと提案内容をまとめました。

STEP 1

STEP 2

STEP 3

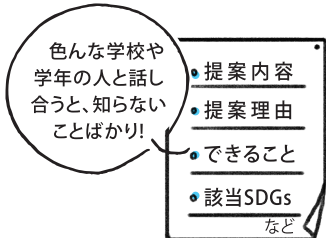


できることがたくさんあることがわかった。

- 赤の付箋 困っている、解決したい
- 青の付箋 これほしい、こうなってほしい、こうなると便利
- 黄の付箋 できること、こんなアイデアがあるよ

「困りごと」や「こうなってほしい」意見を全員で出したよ。

STEP1に出してきた意見に、「できること」の意見を出したよ。



色々な学校や学年の人と話し合うと、知らないことがばかり！

- 提案内容
- 提案理由
- できること
- 該当SDGs など

4、5人のチームに分かれて、一枚の模造紙に提案内容を考えました。

## 伝える

私たちの考えを市へ提案しました

中高生のみんが考えたことをグループごとに発表しました。足りない点や補足を一緒に考えた大学生がカバーしました。



いろんなことが子どもの権利やSDGsと繋がっているんだ！



提案内容を考えた時に、いろんな人の目線や考え方があることがわかりました。



自分の考えは小さくても、皆でアイデアを出し合って意見を考えたら、魅力的なものになった!!



内容が決まらないと大変だったけど、決まった時は、議論が盛り上がっていることを感じた。

まとまった提案を鹿児島市の関係者にプレゼンテーション!



## 届ける

報告書を作成しました

ワークショップで考えた提案を多くの人へ伝えるために、再度集まり、話し合いをしました。



どうやったら、自分たちが考えたことを冊子で伝えられるか考えたら、難しかった(泣)

最後は、「みらいアジェンダ宣言」にまとめるために、自分たちの意見や思いを出し合ったよ。



私たちが考えた提案は次のページから →

by team  
Amen中学生

# 学校

のを中心に  
話し合いました

1

楽しい学校を  
つくるために

## 子どもたちの考えに同意してくれる 大人たちと、話し合う機会を設けたい



該当SDGs

提案内容

この提案を考えた理由は、学校がもっと過ごしやすくなるように一緒に改善したいと思ったからです。子どもの力ではどうしても大人にはかえません。だから、子どもたちの考えに同意してくれる大人に協力してもらい、話し合いの機会を設けることを提案します。



team Amen中学生!

私たち中高生が考えている理想は、今の現実とどれだけかけ離れているかを考え、その理想に近づくために、どのようにしたら良いのか話し合いました。

提案詳細

### 校則や生活

現 実

髪型や靴下の長さが校則で決まっていて厳しく、生徒会に意見を出しても変わらないことが多い。

理 想

校則を緩やかにして、日々の生活が過ごしやすいうようにしてほしい。

### 先生との関わり・授業

現 実

時々、先生は自分のことを理解していないと感じることがあります。

理 想

親しみやすい先生が良いな。自分たちも話せる授業にしてほしい。

### 人間関係

現 実

いじめっ子がいて、先生に言ったらいじめがひどくなったことがある。

理 想

いじめがなく、誰も一人にしない。友達や先生から声をかけてほしい。

甲南中学校1年 鷗木 佑太 さん



僕は、この3日間でさまざまな問題を知ったり共感したりして、言いたいことを大人に伝えることができました。これからは学んだことを生かして、SDGsに少しでも貢献していきたいです。

松元中学校2年 富永 晴空 さん



僕は、他の参加者とは違い、親が仕事関係者という理由で来たのですが、SDGsの話や子どもの権利などの話を聞き、意見を出し合ったりし、Amen中学生というチームで一つの案を出すことができうれしかったです。参加してよかったと思いました。

参加してみよう

by team  
mario

# 学校

のを中心に  
話し合いました

2

すべての人が  
過ごしやすい  
学校生活のために

## 校則の理由と目的を学校に 説明してもらうように促してほしい



該当SDGs

提案内容

校則に対して、不満を持つ生徒の声がたくさん上がりました。例えば「まゆぞり禁止」や「髪型の指定」や「靴下の長さ」です。今ある校則の理由や目的に理解や納得ができないと、学校に不満を持つと私たちは考えました。学校側も説明できない校則が多く、説明できずに生徒の指導に当たるのは大き

な問題と捉えています。実際に傷ついている生徒もいると思うので、このような状況を回避するために、校則の見直しについて提案します。

提案詳細

グループ内で何ができるか話し合い、「アンケートを取る」「先生に言う」「校長先生に伝える」という意見が出ました。本当にそれで解決できるのか、もっと効果的な案はないか、かなりの時間をかけて話し合いました。そして、「鹿児島市」に

も協力してもらって「学校に各校則の理由と目的を説明してもらうよう促してもらう」という提案内容になりました。生徒が行動するだけではなく、市に協力してもらうことで、効力も大きなものになって、校則問題の解決への大きな一歩になると考えます。

まとめ

この提案は、校則に対して不満を持つ生徒が減って、学校の雰囲気も良くなり、たくさんの生徒の学校生活が過ごしやすくなるのが一番の目的です。また先生も、生徒への校則に関する指導の負担軽減にもつながると思います。時代に合っていない校則を見直し、お互いが向き合うために、この提案を検討してほしいです。



team mario!

吉野中学校3年 池田 ゆうじ さん



僕は、学校も学年も違う人たちと意見交換や議論をしてみ、自分の視点が広がったと思いました。自分のチームで考えを深めることができたのはもちろん、私たちと同じ「学校」というテーマでも、違う視点を持っているチームがありました。自分のチームだけでなく、他のチームからも刺激を受けることができ、この三日間でいろんな考えに触れて勉強になりました。

城西中学校2年 兵頭 瑞稀 さん



私は自分の学校の校則を知った時、髪型や、くつ下が指定されていることに違和感を感じていました。生徒会の選挙に出た時、そのことをみんなに伝えようと、賛同してくれる人がたくさんいました。このイベントでも共感してくれる人がいて、自分の声を発信するのは、大事なことだと気付きました。これを読んでいるみなさんも、思っていることがあったら発信してみてください。自分の声を上げることは、決して無駄なことではないと思います。

参加してみよう

by team  
MIKARS

# 生活

のを中心  
に話し  
合いました

生きづらさを  
軽くするために

## 誰もが住みやすい街に



該当SDGs

### 交通について

現実

- バスの便数が少なく、混雑するし時間にも制約がかかる!
- 休みの期間、公共施設に行きたいけどバスが通っていない!
- 定期券が共通で使えないのが不便!

理想

- 通勤や通学時間帯のバス便数を増やす
- 公共施設の前にバス停を設置する
- バスや電車が通る危ない場所は工事を行う
- 公共交通機関で共通で使える定期券を作る

### 平等について

現実

- LGBTの人が打ちあけにくい社会/在日外国人が話しかけにくい社会/障害をもっている人と関わりにくい社会。社会的に少数派とされる人々を理解し、偏見をなくしたい。社会全体で何かできないかな?

理想

- 学校の制服について、どの制服を着るのか選択を自由にする。
- 社会的に少数派とされる人々を学校教育の中で、取りあげ、理解を深める。
- 様々な人との交流の機会を増やす。(例えば交換留学など)

### 場所について

現実

- 家では勉強に集中できない。今ある自習できる場所は、お金がかかるし、無料の数が少ない。



理想

- 学校や家以外でも勉強できる場所が欲しいため、気軽に自習しに行ける、無料で使える場所を作る。学習する場所を整えることで、自分から勉強をする人が増えるのではないかなと思う。自習室を作るために、①募金活動②空いている場所探し③貼り紙などで呼びかけたい。

鹿児島高校1年  
富谷 怜花 さん



イベントに参加したことで、いろいろな人の考え方を知ることができ、自身の考えも深めることができました。子どもの頃に思ったことは、大人になると忘れてしまうことがあるという話を聞き、今思っていることを発言することの大切さも学びました。

鹿児島高校1年  
市岡 彩葉 さん



私たちの小さな願いは、話し合いを通して他の同世代や鹿児島市、日本にも必要としている人がいるアイデアなのだと気づかされました。自分一人の考えが行き詰まっても、同じグループのメンバーが別の視点から意見を出すなど、みんなで提案を考えることができてよかったです。

鹿児島高校1年  
香月 春乃 さん



はじめはイベントが楽しそうだからという理由で参加しましたが、自分と同じ中高生でも様々な異なる視点を持った人がいるのだと分かりました。そんな人たちと議論することで、自分の視野が広がり、新たなものの見方を得ることができたと思います。

提案詳細

参加してみ

by team  
etc

# 社会や環境

のを中心  
に話し  
合いました

現状を知り、  
視野を広げるために

## 中高生主体の団体を作って SDGsなどの活動をする機会が欲しい



該当SDGs

必要だと思理由

- 1 この団体で活動することで、色々な意見をもっている人と出会い、その機会が新しい考えとの出会いや交流にもつながると思う。このつながりが、大学や社会人になっても続くと思う。
- 2 中高生と大学生との交流があると、進学や将来について聞くことができ、将来の不安を減らせ、自分たちの視野を広げることができると思う。活動の中で、専門家の意見を聞く時間もあると嬉しい。私たちが知らない知識を学ぶ機会もあったらいいと思う。

提案内容

### 環境について



- SDGsを絡めた植林活動をしたい。
- 日影が欲しい。



### 社会問題について



- 貧困に対する問題、学費に関する情報を知りたい!
- 献血などに実際に行っている人の意見を聞きたい!
- いじめなどから守る制度を作りたい!

### 学ぶ場について



- SNSでのトラブルへの対応方法を学び、相談する機会が欲しい!
- 校則の内容などを一つ一つの理由まで教えて!
- 自習室や集まって話してもいい場所が欲しい!(考える場の確保)

### 呼びかけ方は…?

SNSや生徒会の活動で呼びかける。高校の専門科目(工業科、普通科、農業科等)ごとのつながりも意識して、他校に呼びかけたい。

### 市にお願いしたいこと…?

参加証明やボランティアカード等、将来活用できるようなものを作って欲しい。参加したら記録して、ポイントが貯まるような仕組みもあったらいいなあ。

参加してみ

- 自分たちにはできないこと(場所の確保や運営)を市や団体に協力してほしいです。理由は何かやりたいことがあっても、中高生だけではできないことが多いからです。活動内容によっては、大人も一緒に運営してもらいたいです。

- 新たなことを始めたり、施設を建てる時には、中高生の意見を反映できる機会を設けてもらったら、もっと使おうと思うし、周知にも繋がると思います。この機会があつて、まちなか図書館が出来ることや市の取り組みを知ったので、10代には知られていないことが多いと思います。

完結型ではなく、参加型かつ持続可能な発展型の活動を望みます。

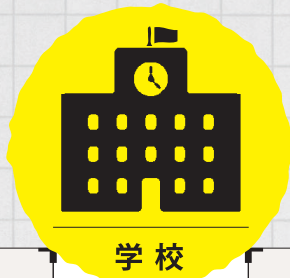


team etc!

# ワークショップで 上がった私たちの 「～なしてほしい」

原案  
まとめ

今回の4つの提案には入って  
いませんが、**中高生から出た意見の一部**を紹介します。  
みなさんは、どう思いますか？



## 学校

|                                             |                          |                   |
|---------------------------------------------|--------------------------|-------------------|
| 制汗剤などの<br>持ち物を自由<br>にしてほしい。                 | お昼寝時間が<br>ほしい。           | 体育館にエアコ<br>ンがほしい。 |
| 体育の授業の<br>開始をゆっくり<br>にしてほしい。<br>(準備時間をゆっくり) | 登校時間を<br>ゆっくりにして<br>ほしい。 | 休み時間を<br>長くしてほしい。 |



## 生活

|                                |
|--------------------------------|
| 年齢制限がなく、ボー<br>ルも使える公園がほ<br>しい。 |
| 完全に静かな空間が<br>ほしい。              |



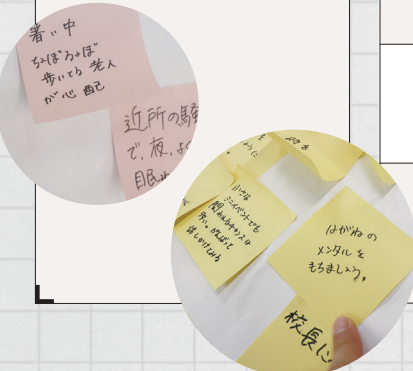
## 「生活」「社会や環境」 どちらも当てはまる

|                                  |
|----------------------------------|
| 大人数で音楽ライブやイベント<br>ができる施設を作してほしい。 |
| 遊ぶ場所がほしい。(無料で年<br>齢制限なし)         |
| 公共施設の自習スペースの冷房<br>の温度設定を見直してほしい。 |
| フリーWi-Fiの設置場所を増や<br>してほしい。       |



## 社会や環境

|                                             |
|---------------------------------------------|
| コロナ感染が不安なので、対策<br>をするなら徹底してほしい。             |
| 道路を綺麗にしてほしい。                                |
| 商業施設を増やしてほしい。                               |
| コロナ禍で県外ナンバーの人の<br>車が往來の誤解をされない<br>ようにしてほしい。 |
| 監視カメラを増やして安全な街<br>にしてほしい。                   |



# 子どもの権利について 専門家に聞きました

INTERVIEW  
インタビュー

鹿児島県弁護士会  
子どもの権利委員会 委員長  
坂田 洋昭 さん



## 「子どもの未来応援条例(仮称)は 自分の可能性を広げるもの」

比較的最近まで、子どもは未熟な存在で大人が教育・指導してあげるべき対象として認識されていました。そのため、上下関係ができてしまい、大人が子どもの言動を制限したり、嫌なことを押し付けたりして、子どもが生き生きと暮らしていくのが難しいこともありました。しかし、子どもは、決して大人が支配する対象ではなく、1人1人が大人と対等な立場で存在や意見が尊重される権利を持っています。それが広く国際社会に表明されたのが「子どもの権利条約」です。

皆さんは日常生活で自分の権利について考えることがありますか？おそらく考えることは少ないはずですが、それは、ある程度は権利が守られているからだと、私は思っています。でも、もしかしたら、自分が持つ権利がよく分からなくて、考えるきっかけがなかったかもしれません。ですから、自分が持つ権利について皆さんにもっと知ってほしいです。「もっと自由にしていいんだ」「困った時には守られるんだ」と気づき、人生がより幸せなものになる可能性があるからです。皆さんが、自分がしたいこと、変えたいと思うことにチャレンジでき、それを大人や地域がサポートする。そんな子どもと大人の関係ができたら、鹿児島市はもっと多くの人が住みやすくなると思っています。

子どもの未来応援条例(仮称)は、「子どもの権利条約」の考え方をもっと身近なものにし、市内の子どもたちにに向けた未来への指針になると、私は考えています。

## 「言いたいことは言ってい それが自分も社会も変えていく。」

私から伝えたいことは、自分が思ったことや考えていることを言える権利があるということです。「こうじゃないかな?」「私はこう思う!」など、自分の意見を言うことはおかしなことではありません。

例えば、公園で遊ぶ時にブランコがなく、ボール遊びができないとします。「サッカーがしたい。ブランコで遊びたい!」と思って、大人に言うことは悪いことでしょうか?同じように思った子どもがみんな、大人に考えを伝えたら、公園のルールが変わり、欲しかった遊具が増えたことが、他の地域ではありました。このように、考えたことを口に出したら、大人は耳を傾け、何かが変わる可能性があることを知ってほしいです。

それは、学校でも家でも同じことです。学校での過ごし方での違和感、日常生活で感じるあれこれ、そして困ったこと。いろいろ思うことがあると思います。言葉にすることは大変でためらうけど、ぜひ勇気を持って声に出してほしいと思います。そして、大人には、その声をちゃんと受け止め、それに寄り添う義務があるのです。

CHECK IT OUT!



ユニセフ  
子どもの権利条約サイト  
子どもの権利条約について詳しく知りたい人は、こちらのサイトを見てみてね。



## 子どもの声を大切に

私たちは、十人十色の思いや考えがあり、互いに認め合う。

## 広がる視野

私たちは、ルールや決まりにしばられず、  
多様な価値観との出会いを願う。

## 明日からの鹿児島市へ

黙っていたら何も変わらない。  
私たちは、自分の声(言葉)を発信し、  
多くの人たちと話し合う機会をもちたいと願う。

すべての子どもたちの声や願いが届き、自分らしく過ごせるように。

鹿児島市の中高生による声より